

SDGsの学習に 森林を学ぶきっかけに
大人も子どもも
森林の持続的な活用について考える



カードゲーム moritomirai

体験会開催!

SDGsの観点から森林を持続的に活用していくために何ができるかを考えてもらおうと、県土に占める森林率が全国トップクラスの山梨県にある地方新聞社・山梨日日新聞社と、ビジネスゲーム制作などを手掛けるプロジェクトデザイン(本社・富山県)はオリジナルカードゲーム「moritomirai(モリトミライ)」を作りました。①森林の現状やルール説明をする「導入」②カードゲーム③ゲーム後の「振り返り」—で計2時間前後のプログラムです。企業研修や学校での森林学習で活用してもらっているほか、森林散策と合わせたイベントなどでも使っています。大人も子どもも参加者同士の対話を通し、楽しみながら日本の森林の持続可能性について考えるゲームです。ぜひ一度、ご体験ください。

紹介動画は
こちら↓



開催日

2026年 8月21日(金)

場 所

9:00～15:30(保健福祉センター集合)

定 員

ふじさんのぬく森キポキポ

先着40名(要予約) 無料

(村在住の小学4年～6年生対象・親子や兄妹でのご参加も可能です。)

申込期日

8月17日まで ※詳細は別紙

お問合せ 0555-84-4121

主 催

忍野村社会福祉協議会

協 力

山梨日日新聞社

フォレストビズ振興機構



← 詳しくは裏面へ

カードゲーム

moritomirai 体験会



カードゲームのルール

10の役割に分かれ行動選ぶ

カードゲームはまず、森に関わる10の役割のどれを担当するかを決めます。役割ごとに違う「仕事カード」、「生活カード」、お金のカードが配布され、4回のターンごとに仕事、生活のカードを1枚ずつ、お金と一緒に使います。カードはファシリテーター（進行役）に手渡し、そのアクションの「結果カード」を受け取ります。

「結果カード」ではお金が増えたり、ゲーム会場で示されている「まち・森の状況メーター」が増減したりします。メーターは「森への愛情（関心）」「手入れ・管理」「整備森林（資源量）」「林業の経営力」の4つで、ゲーム内の森の状況が一目で分かるようになっています。プレイヤーは役割ごとに設定されている金額や、メーター数値のゴール達成を目指します。



お問い合わせ先

忍野村社会福祉協議会
0555-84-4121

<http://oshino-syakyo.cms.ne.jp/>

イベント詳細はこちら ▶



ゲームの流れ

① 役割決め

「山を持っている人」「木材を加工する人」「販売会社の社員」など10の役割のうち、どれを担当するか決め、席に座ります。（一つの役割を1～4人で担当）



② 説明

ゲーム開始の前に日本の森の現状とルールの説明をファシリテーターが行います。



③ ゲーム開始

1ターン目の「仕事カード」、「生活カード」を使い、ファシリテーターから結果のカードを受け取ります。結果により、お金や「まち・森の状況メーター」が増減します。（各ターンの制限時間は7～10分間）



④ 4ターンで終了

1ターン目同様、2～4ターンを行います。各ターンの制限時間内には別の役割のプレイヤーと情報交換し、お金のやり取りをすることもできます（カードの交換はできません）。4ターン目が終わるとゲーム終了となります。



⑤ 振り返り

ファシリテーターが参加者にさまざまな質問をし、ゲームを振り返りながら森林について考えます。

